



**IBARAKI TOYOPET  
RACING TEAM**

## **GR86/BRZ Race 第7戦 ツインリンクもてぎ**

**今年最初で最後のレースに全力投入！  
中山雄一選手と再び。15位でのフィニッシュ果たす**



**TWIN RING MOTEGI**

GR 86/BRZ レース プロフェッショナルシリーズ第7戦  
2020年11月21～22日 ツインリンクもてぎ（栃木県）  
晴れ 10周（35台）  
予選16位／決勝15位  
18号車ドライバー：中山雄一  
180号車ドライバー：阪本知洋  
チーフエンジニア：清水修（GR Garage つくば）  
チーフメカニック：高橋雄大（GR Garage つくば）



コロナ禍によって活動を自粛していた IBARAKI TOYOPET RACING TEAM が、ホームコースのツインリンクもてぎで活動を再開！ 昨年同様、「茨城トヨペット GR つくば 86R」で中山雄一選手とともに GR 86/BRZ レース プロフェッショナルシリーズに挑み、今年最初で最後のレースとなる第7戦が開催された。

新型コロナウイルス感染予防の見地から、モータースポーツ活動を自粛していた IBARAKI TOYOPET RACING TEAM ではあったが、せめてホームコースであるもてぎのレースには……とスタッフからも強い要望もあったこともあり、今季最初で最後のレースではあるが、活動を再開することとなった。

予選は11月も半ばを過ぎたにも関わらず、防寒の必要がまったくない、まさに小春日和の中で行われた。86/BRZ レースのセオリーどおり、ワンアタックにすべてを賭けた中山選手は、路面状況が向上する後半、それもチェッカーの振られる周にタイムを出すべく、ラスト4分、しんがりコースインしていった。だが、肝腎かなめの周を前にトラフィックに巻き込まれ、スリップストリームを使えるような位置取りではなくなり、単独でのアタックとなってしまう、トップから1秒遅れずも、そこは超激戦のプロフェッショナルシリーズ。2分18秒079で21番手に甘んじてしまう。だが、その後、四輪脱輪で当該タイムを抹消されるドライバーが相次いだことから、中山選手は16番手に繰り上がることとなった。

また、クラブマンシリーズ EXPERT クラスには、3年ぶりに阪本知洋選手が出場。もてぎを走るのは21年ぶりということもあって、19番手という結果となった。

明けて日曜日に行われた決勝レースも、天候に恵まれることとなった。ひとつ残念だったのは、ホームコースでありながらパドックに観客の入場が許されないため、昨年は数多く集まった応援団の姿がないことだ。昨今の状況を鑑みれば、やむを得ないのだが……。

しかし、遠くからでも気持ちは伝わったのかもしれない。中山選手はスタートを決めて、まずは13番手に浮上。更に2周目に1台をかわし12番手までポジションを上げる。ただ、ポジションアップはそこまでだった。レースが落ち着き始めると、ペースを上げられないようになり、徐々に順位を落とすことに。必死のガードも実らず、最後は15位でのゴールとなった。

一方、クラブマンシリーズ EXPERT クラスの阪本選手は、スタートで順位を落としこそしたが、その後はバトルを繰り返す。一時はグループの先頭で後続を従えたりもしたが、ライバルも黙って先導を許してくれなかった。24位でチェッカーを受けたが、先行したドライバーが危険行為に対するペナルティを受けたこともあり、ひとつ順位を繰り上げ、23位となった。

IBARAKI TOYOPET RACING TEAM にとって、今季最初で最後の GR 86/BRZ レースは、納得のいくレースではなかったが、こうしてスタッフがサーキットで一丸となって、同じ目標に進んでいくのは久しく味わえなかった感覚ではあった。いち早くコロナ禍が収束して、また以前と同じようにレースができるようになることを望みたい。

## #18 中山雄一選手のコメント



スタートで2～3台抜いて、落ち着くまではみんなと戦えていたんですが、予選から悪かったクルマのバランスが、後半の方は顕著に出てしまって伸びなくなって。今回、新車を下ろしたことで、まだまだ重いところもあったようです。走れば走るほど良くなる時期だと思うので、その部分と今足りない部分を、しっかり線引きしながら詰めていきたいと思います。

## #180 阪本知洋選手のコメント



バトルしていましたね(笑)。ただ、ちょっと防戦一方で。実は何度かシフトミスをしていて、うまくいきませんでした。緊張もあったんでしょう、シフトミスで離れて、離れて後ろのみなさんに迷惑かけながら先生状態で走っていました。後半、タイヤがきつかったのは使い方が悪かったからだと思います。また来年も、できたら！

## チーフエンジニアのコメント ～清水修 (GR Garage つくば)～



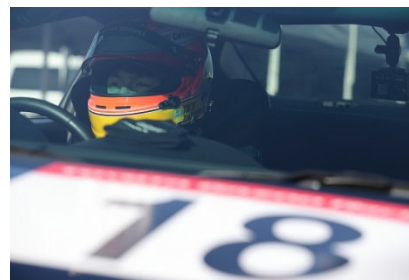
チームとして今季初レースとなる第7戦のもてぎラウンドに参加出来た事を嬉しく思います。新型コロナウイルスの影響により全戦エントリーはかないませんでしたが、自粛期間中に車両への理解度を高めるテストを重ねられた事は今後のチーム力向上のための糧となるでしょう。残念ながら車両のポテンシャルを100%発揮するには至らず残念な結果のレースとなってしまいましたが、来シーズンに向けて改善を重ね上位を狙いたいと思います。ご支援・ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



## チーフメカニックのコメント ～高橋雄大（GR Garage つくば）～



今年最初で最後となる 86 レースになってしまいましたが、チームみんなの意気込みもその分高く昨年より更に一丸となってこのレースを勝ち取ろうとできた気がします。しかし、細かなセッティングを煮詰めようとドライバーとメカで意見を出し合い形にしていきましたが、今ひとつベストな車両を作り出せず、ドライバーにもっともっとエキサイティングになってもらいたかったと悔んでおります。車両の性能差がなぜ出てしまうのか、メカはレーシングスピードで走ることが出来ないのが、ドライバーが今回感じてフィードバックしてくれたレーシングスピードでのドライバビリティ意見を車両メンテにて来シーズン活かして行きたいと思えます。今回は応援、ご支援誠にありがとうございました。



**GR86/BRZ** Race

**BRIDGESTONE**

Racing Development  
**TRD**

**PMU**

**BILLION**  
OILS

**BRIDE**